**杉光磁器店**

杉光磁器店は、塩田津が地域の土器流通の拠点だった江戸時代末期、今から160年以上前に建てられたものです。

同店はこれまでに戦後9回の大水害に見舞われたが、中でも1962年には1階の天井まで水が到達するほどの大水害に見舞われた。敷地全体は3階建ての母屋と周囲の3つの土蔵で構成されている。母屋は居蔵様式で建てられており、屋根は瓦葺きで、白塗りの切妻壁が見えます。

1910年（明治43年）から1916年（大正5年）にかけて三の蔵は、塩田銀行が一時的に使用していました。現在では、店内にあるカフェで一休みしたり、陶芸品を見たりすることができます。

平成10年9月25日に国の登録有形文化財に登録された建物です。